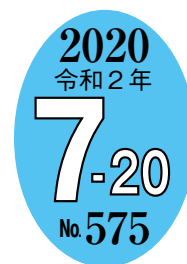




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

景況調査レポート



千曲市 おぼすてえき 姨捨駅 スイッチバック

平安の昔より月の名所として有名な姨捨。先頃、「日本遺産」にも認定されました。急峻なこの地にある姨捨駅は、珍しいスイッチバックの駅。本線は勾配区間にあり、水平になっているのは駅構内だけ。「日本三大車窓」の駅としても有名で、都会からの旅人が車でも訪れる人気スポットです。

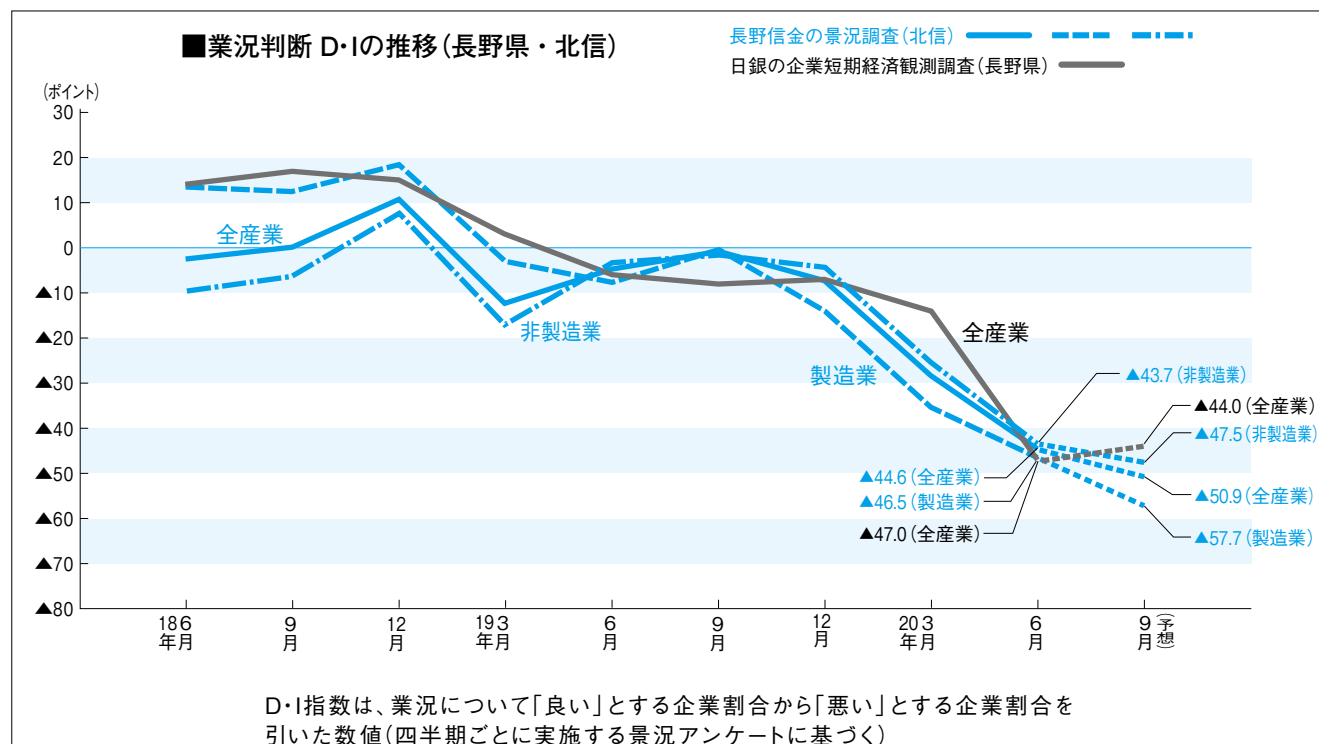
- 長野しんきん
景況調査レポート 2
- 企業アンケート
新型コロナウイルス感染症 ① 6
- 生活者アンケート
新型コロナウイルス感染症 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (71) 10
伊能忠敬、善光寺宿から下戸倉宿へ

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



景況調査レポート 概況 (第180回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2020年4～6月期…景気の現状 ◇2020年7～9月期…景気の見通し



全産業▲28 → ▲45 製造業・非製造ともに悪化

2020年4～6月期の業況判断D・Iは、全産業で17ポイント悪化して▲45となりました。製造業は12ポイント悪化の▲47、非製造業も19ポイント悪化の▲44です。

2020年7～9月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、6ポイント悪化の▲51となりました。

◆北信地区の4月～6月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲28 → ▲45 (17ポイント悪化)	→ ▲51	
製造業	▲35 → ▲47 (12ポイント悪化)	→ ▲58	
非製造業	▲25 → ▲44 (19ポイント悪化)	→ ▲48	

非製造業▲25 → ▲44 全業種が悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が▲16(前期比▲16ポイント)、卸小売業が▲57(同▲16ポイント)、

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲25 → ▲44 (19ポイント悪化)	→ ▲48	
建設業	± 0 → ▲16 (16ポイント悪化)	→ ▲18	
卸小売業	▲41 → ▲57 (16ポイント悪化)	→ ▲61	
サービス業	▲46 → ▲71 (25ポイント悪化)	→ ▲77	

サービス業が▲71(同▲25ポイント)となり、全業種が悪化しています。

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)	収益判断D・I(「増益」-「減益」)
	前期 今期	前期 今期
全産業	▲30 → ▲43(悪化)	▲30 → ▲46(悪化)
製造業	▲38 → ▲47(悪化)	▲42 → ▲45(悪化)
非製造業	+26 → ▲42(悪化)	▲24 → ▲46(悪化)

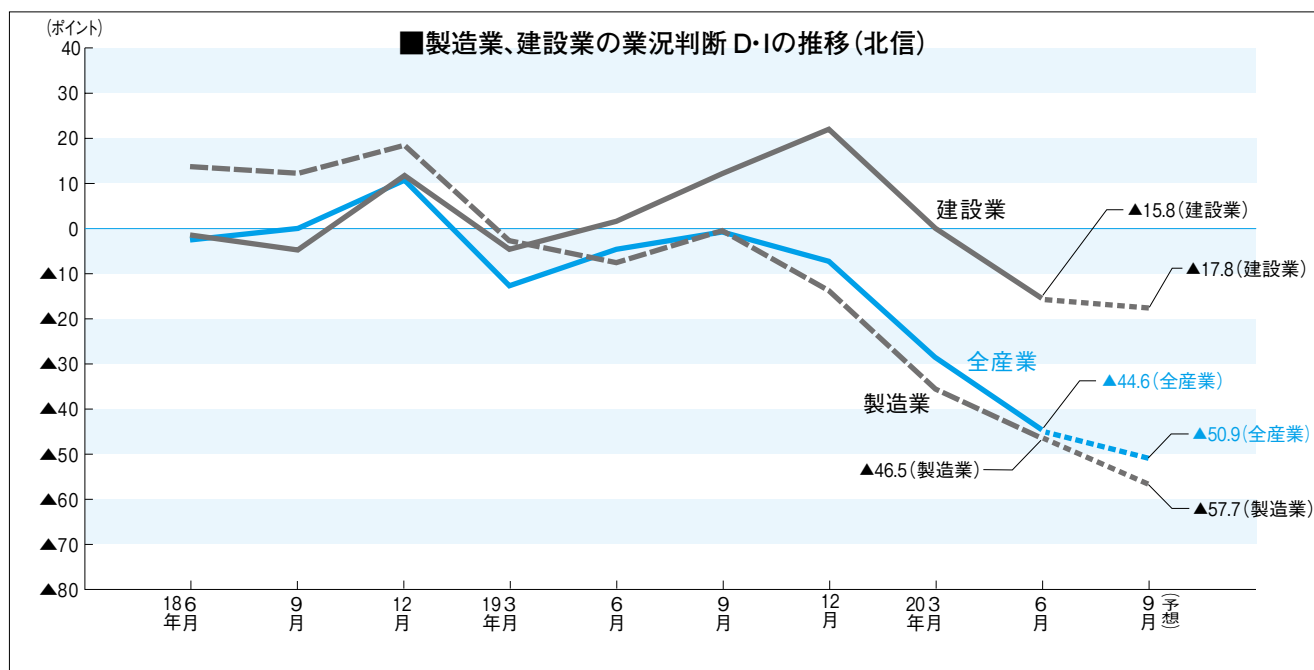
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	2019年9月	12月	2020年3月	6月	9月(予想)
全産業	▲0.9	▲7.1	▲28.4	▲44.6	▲50.9
製造業	▲0.1	▲14.0	▲35.4	▲46.5	▲57.7
非製造業	▲1.4	▲4.1	▲25.2	▲43.7	▲47.5

[調査要領]

●調査実施……2020年6月
●調査対象企業(回収)
製造業……73社
建設業……64社
卸小売業……45社
サービス業……44社

合計……226社
●回収率……86.6%
●従業員規模
30人未満……72.1%
●分析……D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

12期悪化して▲47に、来期も悪化の予想

製造業の4～6月期の業況判断D・Iは▲47で、前期(▲35)に比べ12期悪化となりました。7～9月期は今期より11期悪化の▲58の予想です。

	(前期)	1～ 3月期	▲35
◆業況判断D・I	(今期)	4～ 6月期	▲47
	(来期)	7～ 9月期	▲58(予想)

◇業種別業況判断D・I

改善	食料品・電気機械
悪化	金属加工・一般機械・自動車部品・精密機械

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲45 (3期悪化)

「増益」割合	前期 9% → 11% (2期増加)
「減益」割合	前期 52% → 56% (4期増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期 37% → 25% (12期減少)
「収支トントン」	前期 40% → 38% (2期減少)
「赤字」	前期 23% → 37% (14期増加)

企業からのコメント

- ☆内食志向で商品供給が間に合わない状況。顧客に感謝の気持ちで仕事に励むのみ。(乾麺・冷凍麺)
- ☆巣ごもり消費などで、昨年から業界全体の販売が好調に推移している。(乾麺・そば製粉)
- ★取引先の在宅勤務や休業などで、新製品の動きが悪く、大幅に売上が減少。(プラスチック製品)
- ★コロナウイルス禍で、特に米国の顧客の販売が急低下、回復の見通しがつかない。(カメラ・レンズ)

建設業の景況

16期悪化して▲16に、来期も悪化の予想

建設業の4～6月期の業況判断D・Iは▲16で、前回(±0)に比べ16期悪化しています。7～9月期は今期より2期悪化の▲18の予想です。

	(前期)	1～ 3月期	± 0
◆業況判断D・I	(今期)	4～ 6月期	▲16
	(来期)	7～ 9月期	▲18(予想)

◇業種別	総合建設	前期 ▲ 9 → +33 (42期改善)
	土木工事	前期 ± 0 → ▲ 8 (8期悪化)
	建築	前期 ▲ 5 → ▲35 (30期悪化)
	各種設備	前期 ± 0 → ▲25 (25期悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲22 (24期悪化)

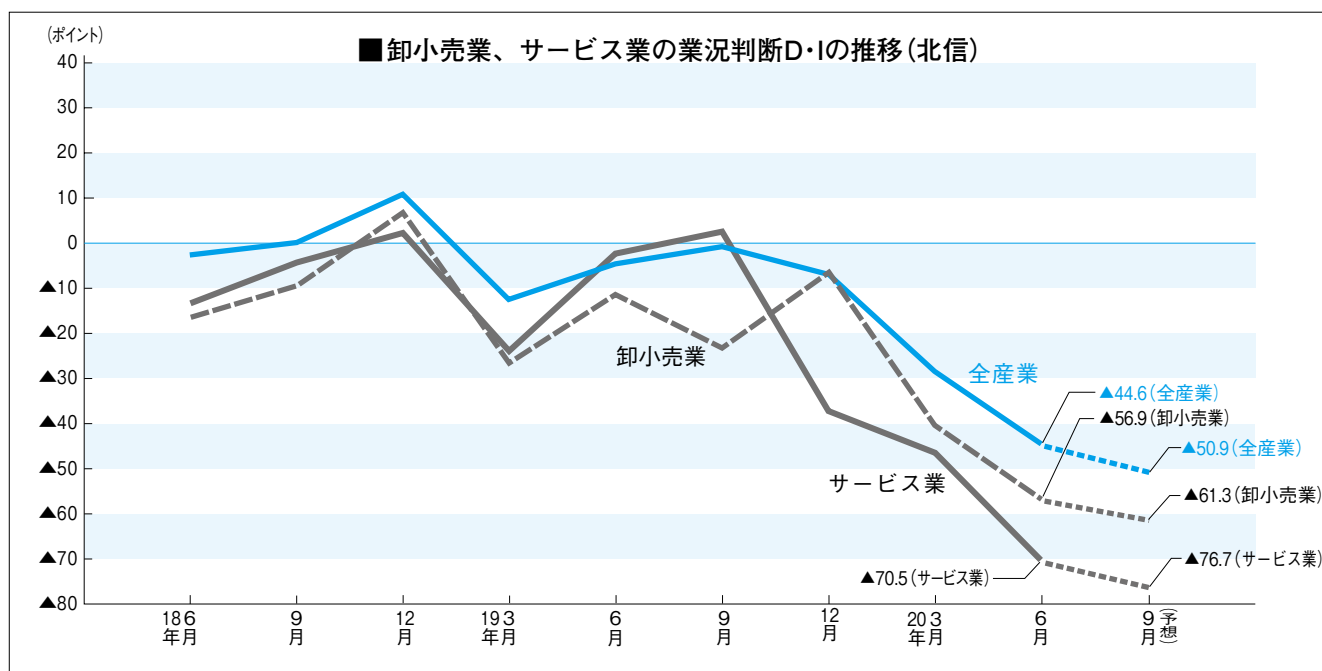
「増益」割合	前期 22% → 11% (11期減少)
「減益」割合	前期 20% → 33% (13期増加)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 52% → 49% (3期減少)
「収支トントン」	前期 42% → 46% (4期増加)
「赤字」	前期 7% → 5% (2期減少)

企業からのコメント

- ★コロナ感染症の影響で、民間建築の動向は先行き不透明な状況が続いている。
- ★コロナウイルス関連予算の増大が、公共建設工事予算に影響がないことを祈りたい。(以上総合建設)
- ★飲食店舗の工事着工が時期未定になった。(建築)
- ★現場作業は企業が休みで実施しやすいが、施主の収入減によって支払いが遅れることも。(検査)



卸小売業の景況

業況は16%悪化の▲57、来期も悪化の予想

卸小売業の4～6月期の業況判断D・Iは▲57で、前回(▲41)に比べ16%悪化しました。7～9月期の業況判断D・Iは4%悪化の▲61の予想です。

◆業況判断D・I	(前期)	1～ 3月期	▲41
	(今期)	4～ 6月期	▲57
	(来期)	7～ 9月期	▲61(予想)

◇業種別	卸売業	前期	▲31 → ▲22 (9%改善)
	小売業	前期	▲46 → ▲81 (35%悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲52 (7%悪化)

「増益」割合 前期 12% → 9% (3%減少)

「減益」割合 前期 57% → 61% (4%増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」 前期 44% → 32% (12%減少)

「収支トントン」 前期 39% → 41% (2%増加)

「赤字」 前期 17% → 27% (10%増加)

企業からのコメント

★コロナ禍の打撃は大きく、今年は絶望的。中途半端な非常事態解除では回復が遅れる。(土産品)

★冠婚葬祭やパーティーが中止もしくは簡素になり、花鉢物が出なくなった。(生花店)

☆家庭での消費が増加して、売り上げは外販部を除き順調。自粛解除で状況に変化も。(酒類卸小売)

★☆新車販売は急激に落ち込んだが、最近回復の兆しが顕著。車検・修理は変化なし。(自動車・バイク)

サービス業の景況

業況は25%悪化の▲71、来期も悪化の予想

サービス業全体の4～6月期の業況判断D・Iは▲71で、前回(▲46)と比べ25%悪化しました。業種別では、不動産が改善しています。7～9月期の業況判断D・I(予想)は6%悪化の▲77です。

◆業況判断D・I	(前期)	1～ 3月期	▲46
	(今期)	4～ 6月期	▲71
	(来期)	7～ 9月期	▲77(予想)

◇業種別業況判断D・I

サービス	前期	± 0 → ▲63 (63%悪化)
輸送	前期	▲63 → ▲88 (25%悪化)
タクシー	前期	▲100 → ▲100 (横ばい)
運輸	前期	▲40 → ▲83 (43%悪化)
外食	前期	▲29 → ▲75 (46%悪化)
観光	前期	▲89 → ▲100 (11%悪化)
不動産	前期	▲40 → ▲30 (10%改善)

企業からのコメント

★新型コロナの影響により、特に工業原材料・部品などの輸送量が減少傾向にある。(運送業)

☆コロナ対策としてテレワークの準備・試験を実施。対応可能なことを確認した。(測量・土木設計)

★当面、回復は見込めそうもない。国および県のふっこう割キャンペーンに期待するのみ。(温泉旅館)

★志賀高原のホテルは夏場の合宿のキャンセルが相次ぐ。将来的に団体客の確保は困難か？(ホテル)

雇用情勢 4～6月期

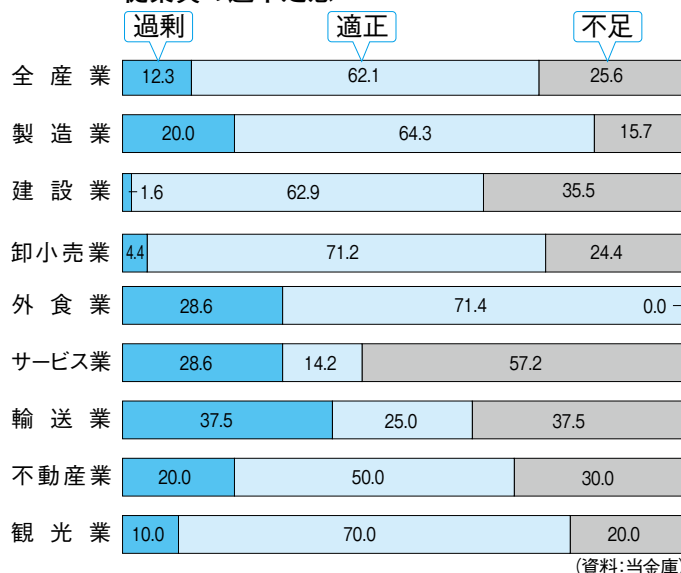
輸送・サービス・観光・不動産・外食・製造が改善

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲13となり、前回（▲29）より15ポイント改善しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業 種	前期（1～3月）	今期（4～6月）
全産業	▲28.5	▲13.3
製 造 業	▲17.0	+ 4.3
建 設 業	▲34.4	▲33.9
卸小売業	▲17.5	▲20.0
外 食 業	± 0	+28.6
サービス業	▲83.4	▲28.6
輸 送 業	▲77.8	±0
不動産業	▲40.0	▲10.0
観 光 業	▲44.4	▲10.0

従業員の過不足感（％）



資金繰り 4～6月期

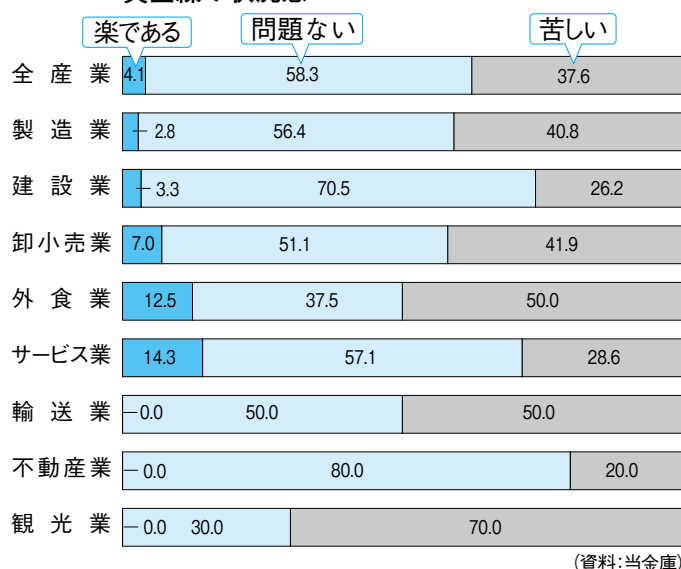
観光・不動産が悪化、製造・建設は改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲34となり、前回（▲26）より7ポイント悪化しています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業 種	前期（1～3月）	今期（4～6月）	来期（7～9月）
全産業	▲26.2	▲33.5	▲36.9
製 造 業	▲26.5	▲38.0	▲45.7
建 設 業	▲15.5	▲22.9	▲23.8
卸小売業	▲28.5	▲34.9	▲37.2
外 食 業	▲28.6	▲37.5	▲37.5
サービス業	▲14.3	▲14.3	▲14.3
輸 送 業	▲44.4	▲50.0	▲50.0
不動産業	▲30.0	▲20.0	▲30.0
観 光 業	▲66.6	▲70.0	▲70.0

資金繰り状況感（％）



販売価格動向 4～6月期

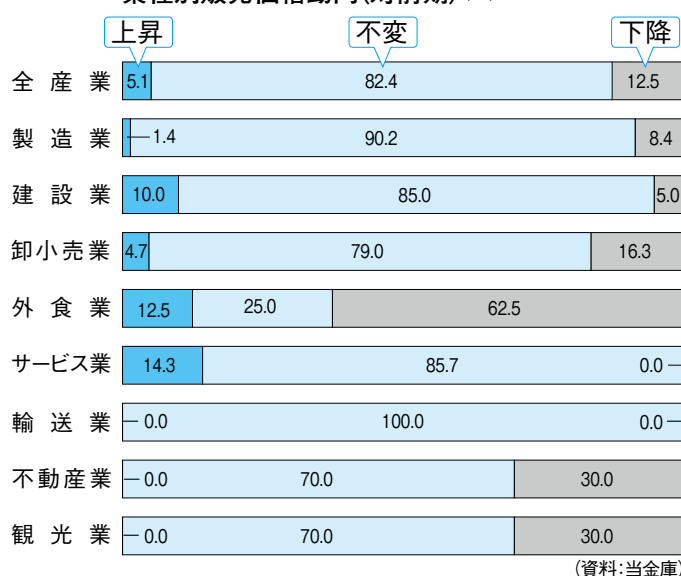
サービスが上昇、観光・不動産・輸送・外食は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で▲7となり、前回（+ 2）に比べ9ポイント悪化しています。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業 種	前期（1～3月）	今期（4～6月）	来期（7～9月）
全産業	+1.6	▲7.4	▲11.2
製 造 業	±0	▲7.0	▲14.3
建 設 業	+8.9	+5.0	▲4.9
卸小売業	▲14.3	▲11.6	▲9.5
外 食 業	▲14.3	▲50.0	▲28.6
サービス業	±0	+14.3	±0
輸 送 業	+33.3	±0	±0
不動産業	+10.0	▲30.0	▲20.0
観 光 業	+11.1	▲30.0	▲30.0

業種別販売価格動向(対前期)（％）



売上への影響 「減少」65% 「変化なし」27% 「伸長」6%

「新型コロナウイルス」の売上への影響 3分の2弱(65%)の企業が「減少」と答え、「伸長」と答えたのは6%、「変化なし」は27%でした。

「新型コロナウイルス」の対応策 トップ3は「マスク着用の指示」(88%)、「従業員の検温チェック」(46%)、「営業活動の自粛」(37%)です。

売上への影響

減少「若干の減少」33%
「大幅な減少」33%
伸張「若干の伸び」5%
「大幅な伸び」1%
変化なし 27%

「若干の減少」と「大幅な減少」はそれぞれ33%の同率となりましたが、他方「伸張」と答えた6%の中身は、「若干の伸び」が5%、「大幅な伸び」は1

%でした。

従業員の規模で比べると、「減少」は30人未満65%、30人以上67%と僅差ですが、「伸張」は30人未満1%、30人以上18%、「変化なし」も30人未満31%、30人以上14%という結果でした。

業種別

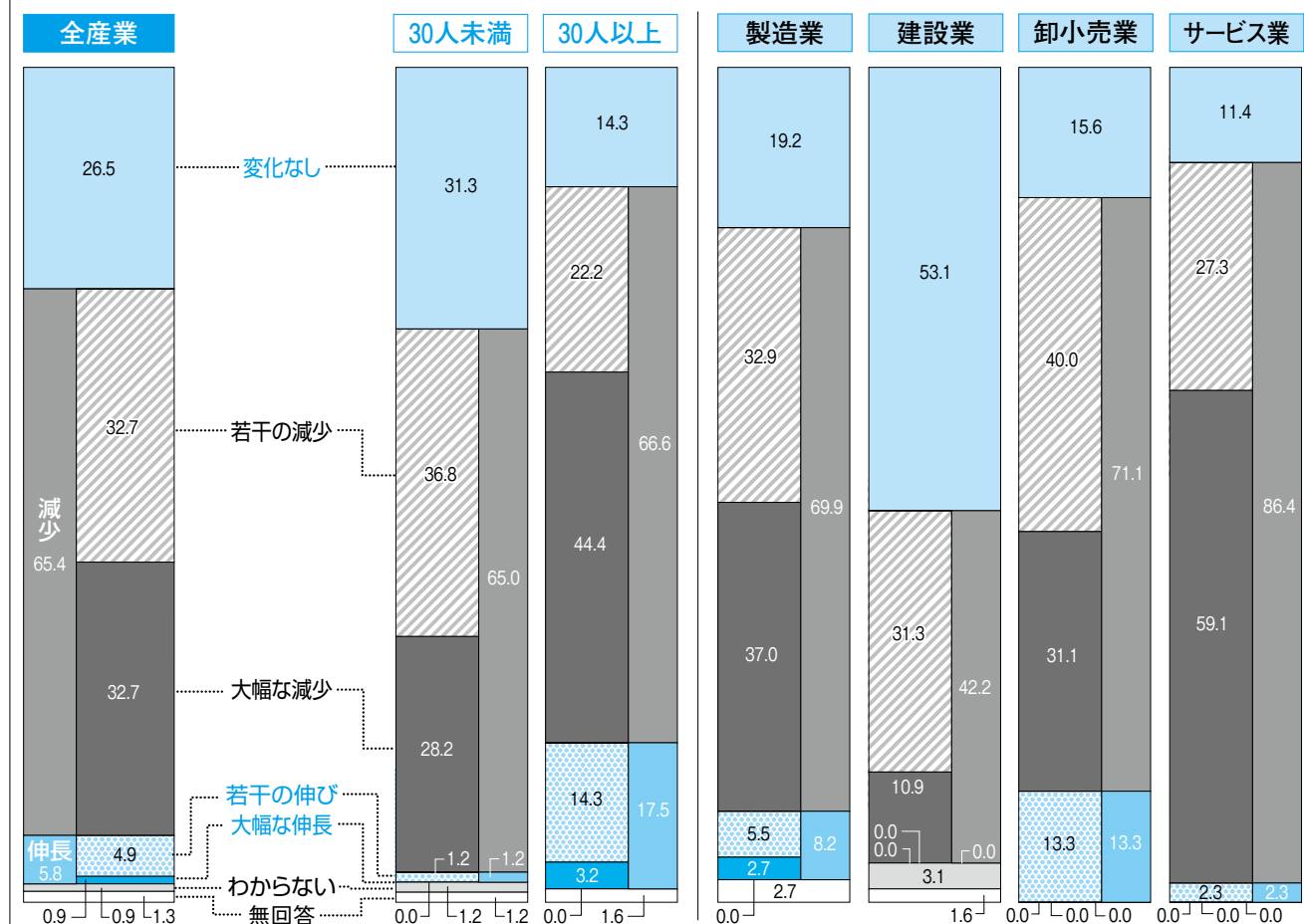
製造業 「変化なし」30人未満24%

卸小売業 7割が減少傾向

サービス業 9割弱が減少傾向

製造業 「減少」は30人未満が30人以上よりやや

●新型コロナウイルスの「売上への影響」(%)



高くなっています。「伸長」は30人以上が高く(19%)、30人未満は低い(2%)状態です。「変化なし」は30人未満(31%)が30人以上の2倍強です。

建設業 「若干の減少」が3割強、「大幅な減少」が1割強ですが、30人以上の「大幅な減少」は0です。「変化なし」は30人未満、30人以上ともに5割強です。

卸小売業 「若干の減少」が4割、「大幅な減少」が3割の計7割が減少傾向です。「変化なし」が16%、「若干の伸び」が13%です。

サービス業 「若干の減少」が3割弱、「大幅な減少」が6割の計9割弱が減少傾向で、「若干の伸び」が2%、「変化なし」は約1割です。

対応策

「マスク着用」88%

「従業員の検温」46%

「営業活動の自粛」37%

トップ3は「マスク着用の指示」(88%)、「従業員の検温チェック」(46%)、「営業活動の自粛」(37%)ですが、「出張の見合わせ」「事業資金の確保」が3割前後、「会社・店舗の休業」「展示会や催事の延期・中止」「従業員の一時帰休」「対応マニュアルの作成」が2ケタとなっています。

業種別

製造業 「出張の見合わせ」45%

建設業 「事業資金の確保」23%

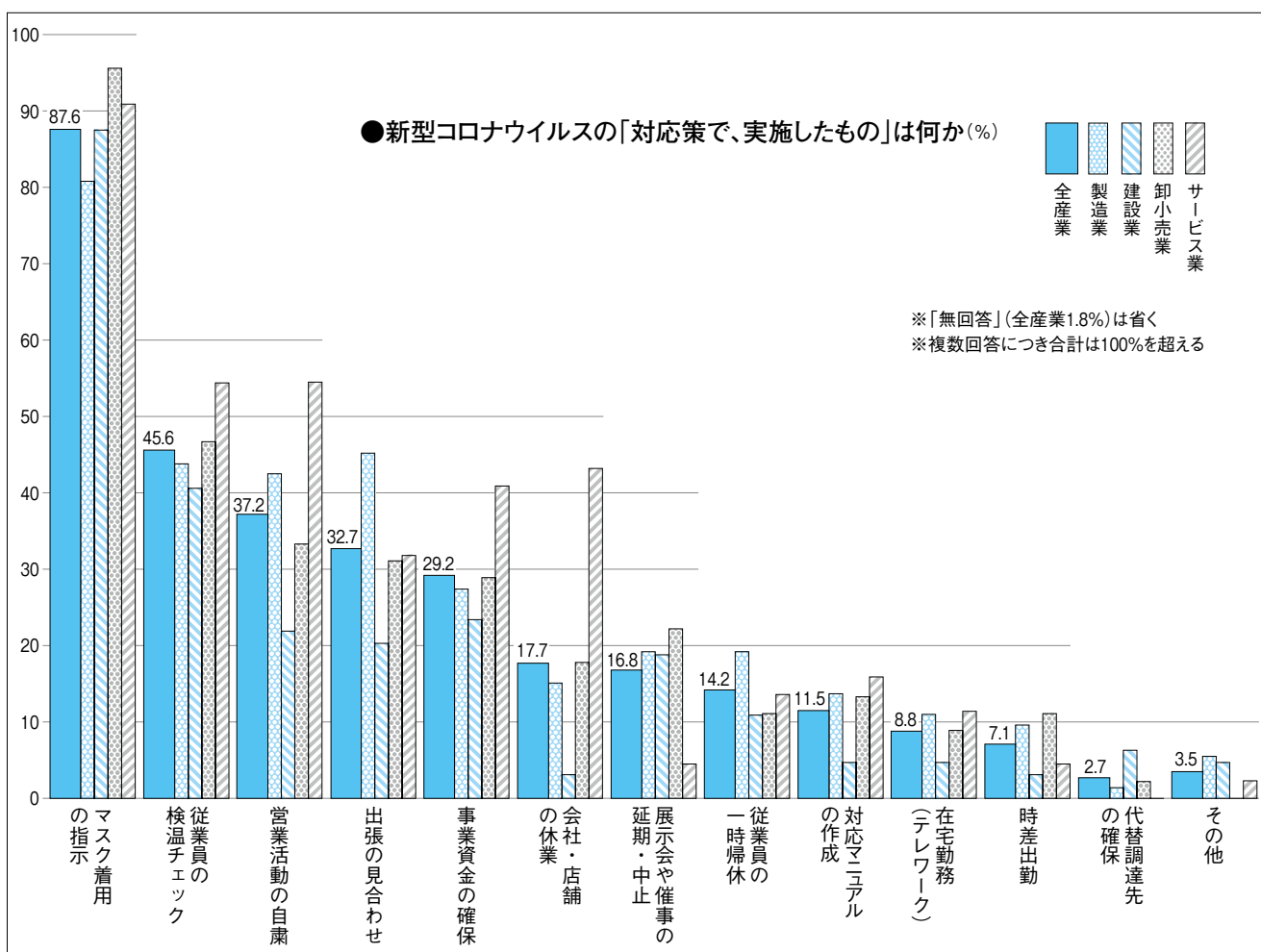
卸小売業 「マスク着用」96%

サービス業 「従業員の検温」55%

製造業 「出張の見合わせ」(45%)は他業種に比べて最も高く、2位となりました。

建設業 「事業資金の確保」(23%)が3位になっています。

卸小売業 「マスク着用の指示」(96%)が他業種に比べて最も高く、「従業員の検温チェック」(47%)がサービス業に次いで高くなりました。



サービス業 「従業員の検温チェック」(55%)が他業種に比べて最も高く、「マスク着用の指示」(91%)は卸小売業に次いで高くなっています。

◇次号は「コロナウイルスが事業活動に及ぼした影響」と「影響はいつまで続くか」を予定

[調査要領]

実施期日：2020年6月上旬～中旬

実施要領：第180回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収226社(製造業73社、建設業64社、卸小売業45社、サービス業44社)
うち従業員30人未満163社(72.1%)

「新型コロナウイルス感染症」に関する企業からのコメント

製造業

◇コロナ禍で、いろいろなことが大きく変化していくと思う。現状維持は難しく、状況に応じて変化を恐れずに進めるしかないと思う。

(シール・ラベル)

◇製造業ではテレワークの導入が難しいため、感染症対策にも対応できずにいる。

(食料品)

◇仕事のやり方が今後変わるから、営業方法も変わるだろう。

(乾麺・生麺・そば製粉)

◇ワクチンができるまで、“規制”と“緩和”が続いていくと予測している。

(乾麺・生冷凍麺)

◇飲食店向けOEMと自社の小売店舗の売上は非常に悪い。経済回復も見込めず、お中元の需要はあるのか、不安が募る。

(みそ・味噌加工品・漬物)

◇国の対策に関して支持をしても、それによる税金などの影響がとても心配になる。

(紙加工)

◇世界的な流行のため、薬の開発(治療・予防)が急務であり、世界的な連携が必要。

(カメラ)

◇今までの生活や働き方を見直し、よい意味で変える機会になればよいと思う。

(プラスチック製品)

◇ワクチンか特効薬、またはその両者が開発されないと、元の社会には戻れないと思う。

(雑貨製造)

建設業

◇すでに顧客の建築設備投資の延期が発生。感染拡大の終息や、ワクチン開発など経済活動の正常化には時間を要し、当社経営への影響は必至。

◇建設業に対する影響は、タイムラグがあるのではないと思う。今後の動向に注視していきたい。

◇人命と社会活動とのバランスが難しい。数件の取引先がダメージを受けており、計画中の新規物件が先送りになっている。

◇新型コロナウイルスの感染が発生している都道府県との往来に不安がある。

◇地球規模の未曾有の出来事につき、会社経営も「緊急事態には緊急手段」を持って取り組むべきと心得ている。

(以上総合建設)

◇もう一度、事業の「リスク」を考える良い機会になったと思う。

◇早期にこの疫病の退散を願う。(以上土木工事)

◇このコロナウイルス感染症をきっかけに、変えるものは変えていくべき。

(建築)

◇この件は、企業・個人のライフスタイルを見直す良い機会ととらえ、改革を実施する。

(内装工事)

卸小売業

◇第2波を懸念する状況下、Withコロナの施策のみならず、Afterコロナに向けた施策立案が目下の課題であると考えている。

(水産物卸売)

◇まずは、“コロナ”を消すことが一番大事なこと。元を絶たないと、先は開けない。

(建築資材卸)

◇部品などの品薄感が続いている。

(自動車・バイク・自電車整備)

サービス業

◇町内製造業への影響が長期化しないか不安になる。

◇ワクチンや特効薬が市中に出回るような「心理的な状況」が改善しない限り、本格的な経済回復は難しいと思う。

(以上貨物運送)

◇自分・家族・社員が感染した場合を考えると不安。どう対応すべきか想像できない。

(測量・土木設計)

◇ある程度有効な薬とワクチンの開発ができないと、終息に向かわないと思う。

(不動産)

◇涼しい高原でのリモートワーク利用を想定した、新たな宿泊プランを組入れたりしてガンバルしかない。信州を訪れたいと思う人に変わりはないのだから。

(観光ホテル)

◇年度末から新年度は、歓送迎会やらで宴会の需要が多い時期だったが、団体予約のほとんどがキャンセルとなってしまった。アフターコロナを考え、将来的に大人数での宴席はどうなるか非常に心配である。

(割烹料理)

◇新型コロナウイルス感染症の影響で、越県移動の自粛要請がされてから、温泉客の入込みは激減し宿泊業は瀕死の状態。

(和風旅館)

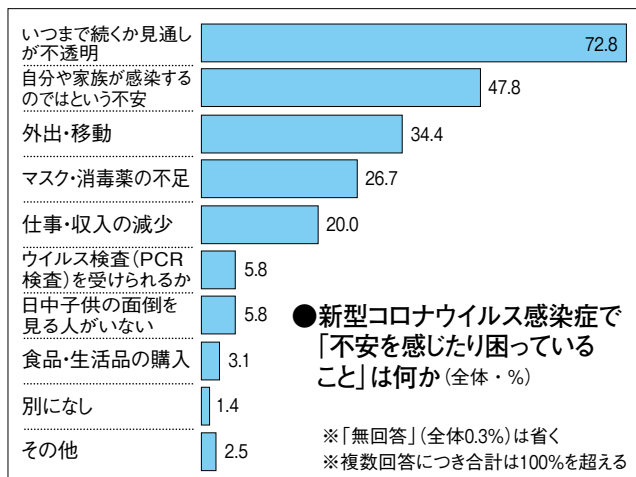
不安に思うこと・困っていること

「いつまで続くか」73% 「感染する不安」48% 「外出・移動」34%

「新型コロナウイルス感染症に関して、不安を感じたり困ったりしていることは何か」を聞きました。

最も高かったのは「いつまで続くか、見通しが不透明」で、7割強(73%)を占めました。2位は「自分や家族が感染するのではという不安」で5割弱(48%)、3位は「外出・移動」で3分の1(34%)と続き、「マスク・消毒薬の不足」(27%)と「仕事・収入の減少」(20%)が2ケタとなりました。

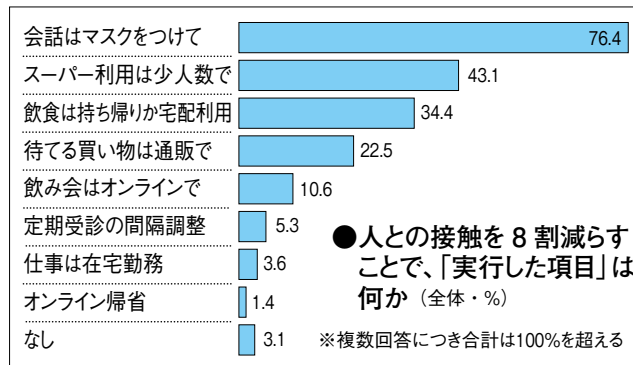
男女別で見ると、1～3位までの順序は変わりませんが、2位の「感染する不安」は女性(57%)が男性より16ポイント高くなっています。



「会話はマスクを付ける」76%

政府が示した「人との接触を8割減らすことで実行した項目は何か」を聞きました。

「会話はマスクを付ける」(76%)、「スーパー利用は少人数で」(43%)、「飲食は持ち帰りや宅配利用」(34%)がトップ3で、「待てる買い物は通販で」(23%)と「飲み会はオンラインで」(11%)が2ケタとなりました。



[調査要領]

実施期日：2020年6月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客360人(男性205人・女性155人)

調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

「新型コロナウイルス感染症」に関する生活者からのコメント

- ◇ウイルス感染症によって今後、経済がどうなるのか。これまでのピーク時より困難な生活にならないか、不安になる。
- ◇一旦は感染者が減るだろうが、気持ちの緩みでまた広がると思う。もっと先を見て生活することが大切では。(以上20代男性)
- ◇いろいろ考えなおす良い機会だと思う。
- ◇政治家や自治体の長など、個々人の能力の差、発信力の差が、その地域の取組み方・実行力にまで影響を与えることが顕著になった。
- ◇ウイルス以上に、人びとの不安による社会へのマイナス影響が大きい。
- ◇善光寺御開帳が1年延期となり、観光や経済の不安が大きくなった。
- ◇早く治療薬・ワクチンができることを祈るのみ。
- ◇感染症が多発する原因の第一に、人間による“自然破壊”が挙げられていることを、世界共通の認識としないといけない。
- ◇どのようなタイミングで、マスクを外して出かけら

- れるようになるのだろうか。(以上50代女性)
- ◇ワクチンができるまでは、少なくともウイルスと上手に共存していくことではないか。(50代男性)
- ◇ウイルスに感染することよりも、感染したことによる風評被害の方が、正直怖いように思う。
- ◇“スペイン風邪”以来100年に一度といわれる“新型コロナウイルス”は目に見えない恐怖。とにかく予防と“三密”を避けて、あまり出歩かないにしようと思っている。(以上、60代以上女性)
- ◇観光業を営んでいるが、年末までには元に戻ってほしい。
- ◇自身が高齢者であるため、感染することに非常な恐怖を感じている。
- ◇感染源を特定することは大切だが、感染者を責めることはよくないと思う。
- ◇行政の対応の甘さ、人命と経済のプライオリティー、官公庁と民間の意識・感覚の差が大きい。(以上、60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

(71) 伊能忠敬、善光寺宿から下戸倉宿へ

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は伊能忠敬の『測量日記』を読みながら、北信濃の伊能忠敬の足跡をたどります。また伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」(大図)の該当部分を紹介します。

伊能忠敬の測量隊は北国街道を南下して善光寺宿(大門町)に到着したのは、享和2年(1802)10月8日(現在の暦で11月3日)のことでした。ところが川止めによってそのまま逗留を余儀なくされ、ようやく出発できたのは10月11日でした。

伊能忠敬の『測量日記』より〔 〕は原本の注

10月11日(現在の暦で11月6日)

大門町から犀川まで

朝から晴天、[犀川の渡し(丹波島)が渡れるようになったとの連絡を待って]、五つ(午前8時)前に善光寺大門町を出発しました。後町・新田町・石堂町を過ぎると、右手に畑が広がり、山が遠の

いていきます。左手は田んぼで、2里ほども奥に続いています。中御所村[松代藩領51軒、椎谷藩領16軒]、荒木村[浜田藩領32軒、寺1]、市村[松代藩領17軒、本郷は脇にある]、また荒木村[右側山まで1里余、左側山まで2里ほど]と続き、犀川までが水内郡で、渡船場があります。

丹波島宿から千曲川まで

ここから更級郡で、丹波島宿[松代藩領66軒、借家を含めて100軒余という。善光寺から1里]、中氷鉋村[上田藩領20軒、旗本松平信濃守領13軒、本郷は左3町ほどにある]、上氷鉋村[上田藩領100軒余]と続き、右側は畑で1里ほどで山になり、左側は田んぼで2里ほどで山になります。

戸部村[上田藩領230軒]、今里村[上田藩領155軒]、今井村北原[旗本松平信濃守領70軒、本郷を合わせて200軒余]、南原村[100軒余]、布施高田村[松代藩領。村内の新屋・芝沢を通る。100軒ほど]、



国立国会図書館蔵「大日本沿海輿地全図」(大図)より

御幣川村〔松代藩領80軒〕、ここに御幣川があります。篠野井(長野市篠ノ井塩崎上篠ノ井)〔塩崎村の枝郷、旗本松平信濃守領100軒ほど、善光寺から京と江戸への追分〕から千曲川を渡ると、埴科郡になります〔ここまで丹波島から3里〕。

矢代宿から下戸倉宿まで

矢代宿(千曲市屋代)〔松代藩領〕で休みました。それより小島村〔天領、中之条代官所管轄33軒〕で、左側の田んぼは3〜4町、右側の田んぼは1里ほどで山々に続いています。左が内



丹波島宿の復元された高札場

沢村(正しくは打沢村)〔天領38軒〕、右が小島村のところがあ(実際には左右が逆)、このあたりは街道に人家が見えません。

鋳物師屋村〔天領50軒余〕、寂蒔村〔天領102軒〕、内川村〔松代藩領80軒、矢代より1里半、善光寺より5里半〕と続き、下戸倉宿(現在の戸倉駅付近)〔宿役は月初めから20日までで、以降は上戸倉と代わる。天領〕に七つ時(午後4時)頃に到着。宿所は本陣の(宮本)十郎右衛門。この夜は晴天で、星により緯度を測量。

「大日本沿海輿地全図」(大図)を見る

北国街道の犀川の丹波島の渡し(左上)から、右下の屋代宿(矢代宿)までの部分です。左が北です。北国街道は赤い線で示されています。

犀川から御幣川村まで

犀川の丹波島の渡しを渡ると街道は南西に向かい、間もなく丹波島宿に入ります。犀川の流路が2本描かれているのは、現在と違って江戸時代の犀川は流路が複数あったことを表しています。

「丹波島」の上に○が付いているのは、そこが宿場であることを示しています。その上に「真田弾正大弼」とあるのは、丹波島宿が松代藩領であるからです。丹波島宿は東西に家々が並んでいて、東西の入口で街道は直角に曲がっています。

中氷鉋村は上田藩主「松平伊賀守」と、その分家で

旗本の「松平信濃守」とによって分割支配されています。戸部村と今里村は上田藩領ですが、今井村北原は旗本の松平信濃守領です。南原村・布施高田村・御幣川村は、いずれも松代藩領です。

篠野井から屋代宿まで

やがて街道は直角に右折します。ここには千曲川に注ぐ川が流れていて、「御幣川」と書いてあります。これは現在の岡田川で、橋は見六橋です。

「篠野井」(篠ノ井)は塩崎村の枝郷で、直進すると松本方面に通じていますが、北国街道は左折して千曲川の屋代の渡しを渡り、屋代宿に向かいます。

伊能忠敬の測量データ(『大日本沿海実測録』より)

大門町～丹波島宿	1里13町20間(約5382m)
丹波島宿～篠野井	1里34町26間(約7684m)
篠野井～屋代宿	28町49間(約3144m)
屋代宿～下戸倉宿	1里17町13間半(約5807m)
	(1里=36町、1町=60間)
下戸倉宿の緯度	北緯36度30分
	(現在の地図では北緯36度29分)

8月号は「伊能忠敬、下戸倉宿から上田城下へ」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

世帯の収入変化

「変化なし」70% 「減少」24% (大幅減 6%・少し減 18%) 「増加」1%

「“新型コロナウイルス感染症”の影響で、世帯の収入に変化があったのか」を聞きました。

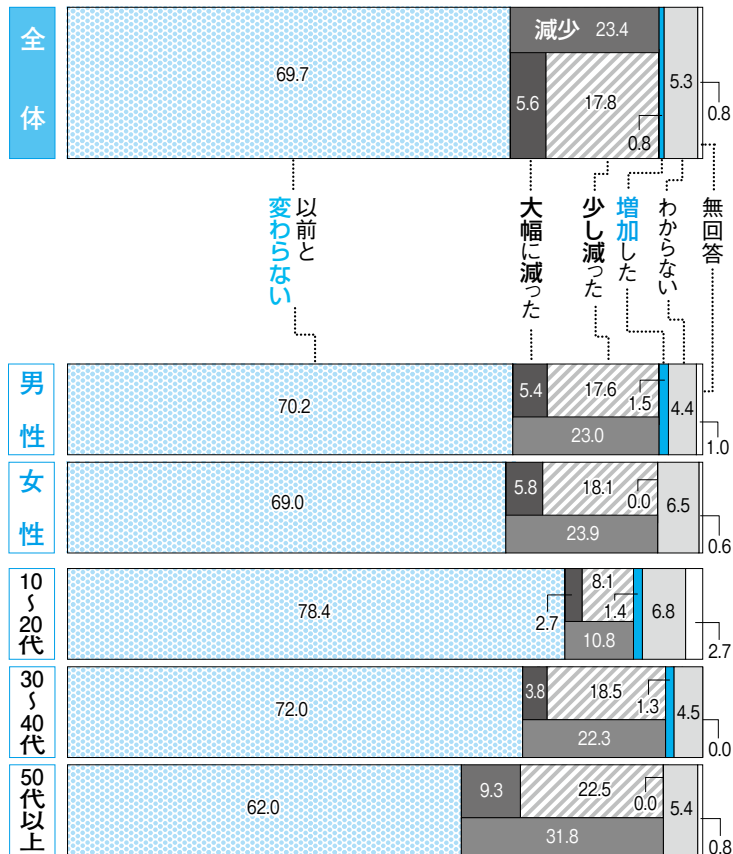
「以前と変わらず」が70%を占め一番多く、「大幅に減った」(6%)と「少し減った」(18%)を合わせた「減少」は4分の1(24%)で、「増加」は1%でした。

男女別で見ると、男性は「不変」70%、「減少」は「大幅減」5%、「少しの減」18%の23%、「増加」は2%でした。女性は「不変」69%、「減少」は6%・18%の24%、「増加」は0%でした。

世代別で見ると、10～20代は「不変」78%、「減少」は3%・8%の11%、「増加」は1%でした。30～40代は「不変」72%、「減少」は4%・19%の23%、「増加」は1%となっています。50代以上は「不変」62%、「減少」は9%・23%の32%、「増加」は0%となりました。

〈当金庫・2020年6月調査〉

●新型コロナウイルスの影響で「世帯の収入に変化」はあるか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [8月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
8月 4日 火	長池支店 (大豆島支店)		8月 19日 水	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
6日 木	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	24日 月	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
7日 金	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	26日 水	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
12日 水	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	27日 木	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
17日 月	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	28日 金	本 部	
18日 火	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	31日 月	本 部	

●8月の「しんきん事業相談会」は8月5日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

